

JLMAが賀詞交換会開く

島岡会長「ライティング5.0を推進」



日本照明工業会（JLMA）は13日、グラウンドニッコー東京台場（東京都港区）で賀詞交換会を開催した。加

盟する照明各社をはじめ、官公庁や関係団体など関係者200人ほどが集まり、脱炭素の切り札とも言える高効率照明の普及加速を誓った。

冒頭のあいさつで島岡康会長が強調したのは、昨年10月に発表したIoT化など付加価値照明の新定義「ライティング5.0」を、業界を挙げて推進することだ。

来賓として、経済産業省商務情報政策局の金指壽情報産業課長は「ライティング5.0を含めてイノベーションを後押ししたい」とした上で、「（温室効果

平岡敏行筆頭副会長が乾杯の音頭を取り、「ライティング5.0が日本や世界を変えさせる」と宣言し、今年の飛躍を誓った。

果ガス削減で）照明はキーデバイスの一つ。省エネと生活を豊かにする照明の普及に期待している」とあいさつした。

島岡会長は「ライティング5.0はLEDに次ぐ第5世代の照明